

令和6年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第9回 理事会

日時：令和7年2月21日（金）

場所：協会事務所＋オンライン会議（Zoom）

1 開催日時: 令和7年2月21日(火) 14:00～17:10

2 開催場所: 協会事務所、オンライン会議(Zoom) 併用

3 出席者: 理事13名、監事2名、顧問1名、幹事2名 計18名

出席:

(理事) 杉山 明伸、大塚智秋 (Zoom 14:42～)、竹内潤子、平野朋美、橋村健司 (Zoom)、山梨誠 (Zoom 14:20～)、門岡高太郎、倉橋 (松本) 浩一 (Zoom)、長岡杏奈 (Zoom～15:00、15:30～)、飯田里美、高瀬紀子、東 (竹野) みはる、千賀英昭 (Zoom～16:00)

(監事) 永井薫 (Zoom)、吉越千昭 (Zoom 14:30～)

(顧問) 堀口泰正 (Zoom 14:10～)

(幹事) 清水信貴 (Zoom 15:30～)、吉田穂菜美 (Zoom)

欠席:

(理事) 森田(近内) 晴美、竹本耕造

4 定足数確認 (定足数8名)

理事 参加13名の出席で理事会は成立。

5 役割分担

議長: 杉山明伸 書記: 吉田穂菜美 (幹事)

議事録署名人: 杉山明伸、永井薫、吉越千昭

6 代表理事より: 杉山会長

今年度の定款改正により臨時総会を開催しないこととなっているが、次年度の事業計画・予算案の策定に向けて準備を進めているところである。また、外部監事の導入について本日の理事会で報告していく。

7 報告事項、討議事項

◎堀口顧問：外部監事に関する進捗状況として川原経営の並木氏からは外部監事の引き受けはできないとの返事であった。

杉山会長：その他に埼玉医科大学病院に勤めていらしゃった菊地孝義さん、埼玉県社会福祉士会会長の遅塚さんを候補として検討していた。丸木記念病院の小林さんに、菊地さんとの間を取り持っていただいた。併せて私から正式に外部監事を依頼したところ、引き受けてくださることとなった。公益社団法人として法律が変わって外部監事を設定しないといけないうこと、過去に会員だったとしても退会から10年以上経過していれば外部監事の依頼ができるということを説明した。交通費くらいしか支給できないことを伝えたが、ご理解いただいた。今後の理事会の参加方法については、確認できていない。事務局または総務部から、直近10年程の県協会の資料を用意して、事前に菊地さんに郵送した方が良いと思われる。

→資料については、事務局が準備し郵送する。

◎定款改正等について（定款改正案参照）

→理事会にて承認。来年度定時総会に向けて準備を進めていく。事前に司法書士の安野先生、県に確認する。

1) 関係機関・関係団体主催会議の参加報告

①都道府県協会研究支援アンケート調査について：平野理事

研究支援の実態調査のアンケートの依頼あり。回答期限3月20日。→門岡研修部長が回答する。

②全国医療ソーシャルワーカー協会社会貢献事業部の調査協力について：平野理事

すでに理事会のLINEWORKSで2月19日に案内済み。

③日本医療ソーシャルワーカー協会主催 2024年度第2回研修担当者会議について：門岡研修部長

2月1日開催。日本医療ソーシャルワーカー協会では経験3年未満の方を対象に新人研修が企画されており、eラーニング、各項目テスト、Webライブ研修という内容で、受講料は4つの料金体系となっている。他の県協会からは、研修を企画しても参加する人がいつも一緒、新人研修を開始しても参加者2名のみで運営する人数の方が多くなっている等の意見があった。また、秋田県では会費の未納が多く、口座引き落としに変更したと報告があった。

④「令和6年度在宅医療関連調査・講師人材養成事業」におけるグループワーク研修の開催について：平野理事代理（資料参照）

松本理事：秩父市立病院の若林氏に研修報告書を作成していただいた。感想の中には、グループワークを行うと在宅側、病院側の構図になってしまっている状況で、病院の機能分化や急性期病院においては調整にかかる時間すらとることが難しい現状やその接点に関わるMSWが置かれている状況について説明を行ったとされている。急性期病院側の人が参加して、在宅関係の方と話をする機会を持つのはどうかと話があった。

2) 各部局からの報告

(1) 社会活動部：長岡理事

① 来年度の事業計画案・予算案について

会員向けに行ったアンケートでは、身元引受人不在で困っているケースが多いとの回答があったため、身元保証を題材にしたシンポジウムやフォーラム（対談形式）を開催したいと思っている。地域の方を巻き込みながら行っていきたい。医療相談会も含んだ予算案としている。

来年度以降に行う事業も今後検討していく。人材フェアや福祉人材フォーラムにブースを設ける等、違った形の展開も考えられるのではないかと考えている。

松本理事：来年度の全体研修会は、身寄りのない方の支援について講師を横須賀市の北見万幸さんに依頼している。県協会も行政に提言する等のソーシャルアクションをしていくのも良いのではないと思う。

大塚副会長：シンポジウム、フォーラムはいつ開催予定なのか。

→来年度開催予定。

(2) 総務部：橋村総務部長（資料参照）

① 会員状況

2月21日時点で、東部65名、西部129名、南部113名、北部89名、合計396名。第1号会員は391名、第2号会員は5名。

② 各ブロック活動報告（資料参照）

③ 令和7年度役員改選について

2名立候補者あり（内、現理事1名）。

大塚副会長：塚田氏が南部ブロック責任者を辞任の意向を示しており、立候補としてではなく推薦として理事をやっていただくのはどうか。

杉山会長：東部ブロック責任者である泉谷氏も立候補より推薦で理事を引き受けることを考えているようである。

役員継続不可の意思を示しているのは6名、現時点で少なくとも理事3名不足している状況。

③組織改革案及び入会申込書改定案について（別紙参照）

杉山会長：この改革案は運営要領の改正のみ必要で定款改正の必要はない。ただ組織改革になるので、定款改正同様重要なことだと思う。いつまでに決めるという时期的な目処はあるか？→千賀理事：本理事会で決議していただきたい。

松本理事：統合した場合の引き継ぎ、仕事内容のボリューム量はどうなのか。

平野理事：懸念されることもある。定款改正に匹敵する事柄だと思う。ICT化が進んでいて、効率化されてきている部分もある。役員改選までのことは記載されているが、その後はどうなるのかを伺いたい。

橋村総務部長：個人的なことがいろいろ重なり、今の役割を継続することが難しいと感じている。

飯田理事：統合することは良いことだと思うが、事務局の人数が減ってしまうと事務局が潰れてしまうのではないかと思う。事務局と総務部が統合して、先輩とともに一緒にやっていくのであれば良いと思うが、人数が減ってしまうのは事務局が大変になると思う。

永井監事：平成8年～1局4部体制となっている。平成7年までは4部体制であった。総務部長だった頃、法人の登記・減免申請等行っていたが月に4回くらい県庁に行っていた。昔よりは効率化していると思う。当時は2つの部局に分かれないと大変だったように感じる。また、総務部の事業計画には例年「会員の拡大」が明記されていた。現在は会員の減少に伴い、会費も減少している。引き続き会員の拡大に努めないと今は会員が増えていかない。「会員情報の管理」に、会員の拡大も含まれているのであれば良いと思う。

千賀理事：会員管理については、ICTでやっていけるよう今後が見えてきたところである。会員管理の手続きをWeb上で行うよう検討している。職場のサポートがあり行っている状況であるため、今後は会員情報の管理を1人ではなく複数で管理していくのが良いのではないかと思う。

高瀬財務部長：世代交代として、次の方が来た時に引き継げる体制が必要だと思う。職場の方にも支えられながら、できる範囲の業務を行う。そうでないと担い手がいなくなってしまう。財務部も業務のスリム化を考えないといけないと思った。

竹内副会長：業務がスリムになると良いという事情はよくわかるが、今回の話は衝撃が大きかった。今回話し合う良い機会になっている。本理事会で決議するには時期が早すぎるのではないかと思う。

清水ICT部門責任者：現在ホームページ作成中である。入会申し込み・退会申し込みの入力フォームを作り、会員名簿を作る作業を自動化し、作業0を目指していきたい。人が代わっても時代が変わっても情報が資産となる。

杉山会長：1995年は会員が200名ぐらいで、総務部長が実質会長職を担っていた。その後10年間は80名加入して50名退会するを繰り返し、毎年30名増えていく経過を辿っていた。最近では500名から400名に減少し、会費収入も70万円減収となっている。今まで理事を担ってきた方からは、特に事務局や財務部は大変だったと聞いている。退職した後も役員を担ってくださっていることやICT化が進んでいることで、今何とかやっていけている状況である。総務部だけではなくて、全部局の業務について考えていかないといけない。よって本日結論を出すのは難しい。

堀口顧問：方向性としては違和感を感じなかった。今後を考えると、改変は当然議論されていくべきだと感じた。あり方検討委員会でも同様の話題が挙がったりしていた。ICTの活用によって、業務が簡素化されるのも期待される場所だが、統合したからと言って理事2名を減らせるかどうかというところという訳ではないと思う。まだ本日結論を出すには早いと思う。まだまだ議論を重ねる必要がある。

杉山会長：他の部局からの意見も集めていく。継続審議とするが、次の役員改選である6月までには結論を出していきたい。

(3) 研修部：門岡研修部長

①専門研修会報告会：松本理事

2月15日開催。申込者数49名。アンケート回答・感想内容を報告。受講料収入73,000円から経費等31,138円を差し引いて、30,138円の収益となっている。

②全体研修会について

講師は横須賀市の北見万幸さんに依頼している。当日ライブ配信は行わない予定。

平野理事：研修の受講料が県協会として一部収益となっている。全体研修会では今まで受講料をもらっていなかったと思うが、検討してみても良いのかなと思う。

(4) 財務部：高瀬財務部長

①財務状況報告（別紙参照）

401件納入されていることが報告された。

未納者は51名（66口）、北部9名12口・西部11名15口・東部10名12口・南部21名27口。

未納退会者27名。

②令和7年度予算案について（別紙参照）

予算収支はマイナス5,000円。

新人研修、専門研修の受講料を公益事業の予算収入（雑収入）として計上していく。今後引き続き収入が見込まれるのであれば、研修等収入という項目を作り、予算を計上していくことについて問題ないことを並木氏に確認済み。5,000円くらいは研修をして収益を得られるという見込みで予算案を計上していきたいと思う。最終的に再度並木氏に確認した後、メール稟議という形で決裁していきたいと考えている。

門岡研修部長：新人研修 2000円×平均15名、中堅研修 1000円×平均10名を研修等収入で見込めると考えている。

（5）事務局

① 今後の協会運営あり方検討委員会報告（議事録参照）：竹野事務局長

②令和7年度事業計画案について

社会活動部：「啓蒙啓発」→「啓発」へ変更。イ 「医療社会的状況」→「医療をとりまく社会状況」に変更。「医療福祉相談会を行う」→削除するかどうか。イの内容について・エ 災害対策に関しての詳細については社会活動部に確認する。

→修正・検討箇所以外の内容については理事会にて承認。修正箇所は最終的にメール稟議を行う。令和7年度事業計画案は会員に向けてホームページに掲載する。

③今後の事務局事業関連報告「定款改正関連手続き、年度末・年度当初の各種申請、総会 関連、事務所移転、役員及び会長の交替に伴う登記等の手続き」（第3回事務局会議議事録参照）

事務所移転について：先日竹野事務局長、平野理事、山梨理事が事務所候補先としてBIZ comfortを内覧した。志木・大宮西口・春日部はコンシェルジュがいる。コピー、プリンター、文具用品も揃っている。1部屋1年契約。春日部は約3万円、大宮西口は約6万円。大宮西口会議室は最大8名利用、5時間までは無料（予約制）。カードを持っている人がいれば、どこの会議室でも使用可能。9名以上の場合は他の会議室等を利用する。

→候補先として検討。また他に候補先となる情報を引き続き収集していく。

④ICT部門から（Zoomアカウント数の見直しについて、Canvaの勉強会についてその他）
：清水ICT部門責任者

・Canva研修会

3月21日（金）研修会開催。Zoom20名、集合20名で予定している。

・Zoomアカウント見直し（削減）

GoogleカレンダーでZoomライセンス使用状況を確認するシステムができれば、同一アカウントでの同時開催を防げる。そのためには、各々がGoogleアカウントを管理できるようにする必要がある。

- ・ホームページ作成

ホームページを6月には開設したいと思っている。ホームページの内容について検討するため、ホームページのプロジェクトチームを立ち上げたい。

⑤ 事務所員関連業務報告：竹野事務局長

協会事務所への電話相談の報告。

8 その他

◎令和7年度予算案、事業計画書案は3月7日までにメール稟議を行う。

→3月7日、メール稟議の結果、全員一致で来年度の予算案、事業計画案を承認した。

9 次回理事会の開催について

- ・次回理事会は令和7年3月28日(金)14:00から開催する。

・各部局で緊急を要する事態が発生した場合は、必要に応じてメール審議または緊急オンライン理事会を開催することとした。

以上を以て議案等の審議を終了し、17:10議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。

令和7年 月 日

議事録署名人（代表理事）

議事録署名人（監事）

議事録署名人（監事）